

Micro Hardening in 弘前

講師情報

川口 洋 氏

- ・株式会社ラック サイバグリッド研究所長 兼 チーフエバンジェリスト
- ・2002年に(株)ラック入社後、社内における研究開発やサイバーセキュリティに関する情報集約、情報発信を担当。情報セキュリティ EXPO、Interop、各都道府県警のサイバーテロ対策協議会などで講演し、安全な IT ネットワークの実現を目指して日夜奮闘中。セキュリティ・キャンプの講師として未来ある若者の指導にあたる。また、最高の「守る」技術を持つトップエンジニアを発掘・顕彰する技術競技会「Hardening Project」のスタッフとして、IT システム運用に関わる全ての人の能力向上のための活動も行っている。

Micro Hardening とは

「衛る技術の価値を最大化することを目指す」プロジェクトである Hardening Project から生まれた、「カジュアルにゲーム感覚で」サイバー攻撃に対処する能力を磨く競技です。

Micro Hardening では、参加者は 45 分という限られた時間のなかで、提供された EC サイトに対する様々なサイバー攻撃に対処することが求められます。参加者は用意された EC サイトにログインし、スタートコマンドを実行することでゲームを開始します。競技が始まると、EC サイトに対して買い物を行うクローラが動き出します。「クローラが EC サイトで購入した金額」が参加者の得点となり、EC サイトを安定稼働させることが高得点につながります。クローラが動作する裏側では自動的に多数のサイバー攻撃も行われ、EC サイトの安定稼働を妨害します。参加者は次々と発生するサイバー攻撃を防御し、停止した EC サイトを復旧することで売上を稼ぎ、さらに防いだ攻撃に応じたボーナス得点(追加のクローリング)を得ることができます。Micro Hardening の評価は単純に稼いだ得点のみを対象としています。

Micro Hardening のゲームは 45 分を 1 セットとし、複数セット繰り返すことを想定しており、毎回同じタイミングで同じ攻撃が発生するように設定しています。そのため、毎回少しずつ攻撃の状況を観測して対処方法を試すことで、エンジニアとしての能力向上を実現できることを目指しています。理想的にはシューティングゲームのように、敵の攻撃のパターンを覚えることで高得点を稼ぐことができるシステムにしたいと願っております。

4 人を 1 チームとして 10 チームほど作る予定です。知らない人と同じチームになりますが、チームメイトの取り組みからも、是非たくさん学んで帰ってください。

↓ ハードニングに関する詳しい情報はこちらから ↓

(<https://microhardening.connpass.com/>)

(<https://speakerdeck.com/kawaguchi164/about-micro-hardening>)